

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第4区分
【発行日】平成27年2月12日(2015.2.12)

【公開番号】特開2013-202818(P2013-202818A)
【公開日】平成25年10月7日(2013.10.7)
【年通号数】公開・登録公報2013-055
【出願番号】特願2012-71654(P2012-71654)
【国際特許分類】

B 3 2 B 15/08 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 15/08 G

【手続補正書】

【提出日】平成26年12月17日(2014.12.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

トップコート層を構成する熱硬化型樹脂としては、例えば特開2000-129448号公報に記載される液状エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂、フッ素樹脂、アクリル樹脂、メラミン樹脂及びシリコン樹脂、特開2003-155580号公報に記載されるシリコンアクリル系樹脂、特開2002-256455号公報に記載される2液硬化型ポリウレタン樹脂またはアクリル変性シリコン樹脂等が挙げられる。また一般に市販されている熱硬化型樹脂として、例えば藤倉化成株式会社製の「PTC-02UH(10B)」(シリコンアクリル系塗料)またはオリジン電気株式会社製の「オリジン#100」(アクリルシリコン系塗料)、大橋化学工業株式会社製の「ハイポリナールNo.800S」(アクリルシリコン系塗料)「オーマックNo.100(E)クリアFV」(アクリルシリコン系)「ネオハードクリアH」(高硬度アクリル系)等が好適に使用される。